

校名に想いを込めて「竹」のように成長する3学期に

保護者・地域の皆様、改めましてあけましておめでとうございます。昨日10日に体育館で3学期の始業式を行い、学校も令和5年の新たなスタートを切りました。

始業式では子どもたちに学校の名前にまつわる話をしました。

令和6年度開校する竹田前山統合小学校名は、237名の応募の中から「竹山小学校」に決定しました。選ばれなかった中には、「さわやか」「なかよし」「かがやき」など、もしかすると子どもたちが考えて応募してくれたのではという校名もあり、た

だその校名に込めた想いには、「こんな学校になればいいではなく、こんな学校にしたい」という、当事者意識を感じたことを伝えました。

また竹田小学校の校名になっている「竹」について、クイズを交えながら、こんな3学期にしようと話しました。

竹の節はタケノコの中から変わらずに約60あり、それぞれの節の間隔が伸びて高い竹へと成長します。その成長スピードは



竹のふしは、
およそいくつ

①10

②30

③60





竹をみんなにたとえると

3学期のふしは、
「〇〇式」

ふしとふしのあいだ

大きくせいちょうする子



竹をみんなにたとえると

なかまといっしょに
せいちょうする子

驚くもので、1日に80cm以上も伸びるそうです。これも節が重要な役目を果たしていることを伝えました。人にも節（節目）があり、それが今日の始業式であり、3月の修了式や卒業式がそれにあたること、今日から3月までの間、竹のように毎日ぐんぐん成長しようと言いました。

また、竹は地下茎でつながることで群生して成長します。み

んなも協力し合ったり助け合ったりすることで成長できたと言える3学期にしようと伝えました。

そのために先生方と今年度竹田っ子に伸ばしていきたい「自分で考えて行動できる」「新しいことや初めてのことに挑戦、チャレンジできる」「友だち、仲間とともに学べる」3つの力を伸ばせる場づくりや子どもに寄り添った声かけに取り組み、一人ひとりの成長とクラスや学校全体でも高まりを感じることが出来る3学期にしたいと考えています。

保護者・地域の皆様にはこれまで同様、ご支援ご協力を頂きますようよろしくお願いいたします。